別記様式第27　　①

非常電源（蓄電池設備）試験結果報告書

試験実施日　　年　　月　　日

試験実施者

住所

氏名　　印

消防用設備等の別				
使用区分	消防用設備等のみに使用（　　）			
	その他と共用（　　）			
蓄電池	容量	AH	出力電圧	V
	種別		セル数	セル
充電装置	充電方法		出力電圧	V
	入力電圧	V	出力電流	A

試験項目				種別・容量等の内容	結果
外観試験	設置場所等	設置場所			
		不燃専用室・機械室等	換気設備	――	
			有効な防火区画	――	
			防水措置	――	
			出火防止・延焼拡大防止	――	
			照明設備の有無	――	
			標識	――	
	構造・性能			――	

保有距離(m)	保有距離を確保しなければならない機器等の部分 ＼ 機器名		操作面前面	点検面	換気面	その他面	周囲	列の相互間	相対する面 操作面	相対する面 点検面	相対する面 換気面	相対する面 その他面	変電設備又は発電設備 キュービクル式	変電設備又は発電設備 キュービクル式以外	建築物等	――
	キュービクル式						―	―								
	キュービクル式以外	蓄電池	―		―		―		―	―	―	―	―	―	―	
		充電装置					―	―	―	―	―	―	―	―	―	

非常電源（蓄電池設備）　②

試験項目			種別・容量等の内容	結果
外観試験	設置方法	分岐方法	————	
		結線・接続	————	
		表示	————	
		耐震措置	————	
		蓄電池・充電装置等	————	
		配線	————	
機能試験	接地抵抗試験		（接地工事の種類） 種接地工事 Ω	
	＊絶縁抵抗試験	充電装置の交流側端子と大地間	MΩ	
		逆変換装置の交流側端子と大地間	MΩ	
		直流側端子と大地間	MΩ	
	作動試験	減液警報装置	————	
		切替装置	————	
備考	試験実施者が有している資格：			

備考1　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
2　選択肢のある欄は、該当する欄を○印で囲むこと。
3　使用区分の（　）書きは、共用している設備名を記入すること。
4　結果の欄には、良否を記入すること。
5　＊印の試験は、「蓄電池設備の基準」（昭和48年消防庁告示第２号）に適合している旨の表示が付されているものにあっては、当該設備に係る部分について省略することができる。